規制と安全に関する通知

この付録はプロジェクタの一般的通知を一覧表示しています。

FCC通知

本装置は、FCC基準パート15に準ずるClass Bのデジタル電子機器の制限事項に準拠しています。 これらの制限事項は、住宅地域で使用した場合に生じる可能性のある電磁障害を規制するために制定されたものです。 本装置は高周波エネルギーを生成し使用しています。また、高周波エネルギーを放射する可能性があるため、指示に従って正しく設置しなかった場合は、無線通信に障害を及ぼす可能性があります。

しかしながら、特定の設置状況においては電波障害を起こさないという保証はありません。本装置がラジオやテレビの受信に障害を与えていないかを判断するには、本装置の電源をオンオフしてみます。受信障害が発生している場合には、以下の方法で受信障害を改善することをお薦めします。

- 受信アンテナの方向または設置位置を変える。
- 本装置と受信機の距離を離す。
- 本装置と受信機の電源系列を別の回路にする。
- 販売店やラジオ/ビデオの専門技術者に問い合わせる。

通知: シールドされたケーブル

他のコンピュータ装置への接続は、FCC規制への準拠を守るため、すべてシールドされたケーブルを使用して行われる必要があります。

注意事項

製造元の明確な許可を受けることなく、本体に承認されていない変更や改造が行われた場合には、FCCによって与えられた、このコンピュータを使用する権利が規制される場合があります。

操作条件

本製品はFCC規則パート15に準拠しています。 操作は次の2つの条件に規制されます:

1. 電波障害を起こさないこと、
2. 誤動作の原因となる電波障害を含む、受信されたすべての電波障害に対して正常に動作すること。

通知: カナダのユーザー

このClass Bデジタル機器は、カナダICES-003に準拠しています。

EU諸国に対する適合宣言

EMC指令89/336/EEC (修正事項を含む)
低電圧指令73/23/EEC (93/68/EECにより修正)
R & TTE指令1999/EC (製品にRF機能が搭載されている場合)

目次

目次 1
安全上のご注意 2
使用上のご注意 8
安全に関する情報 10
安全上のご注意 11
眼の安全保護について 13
はじめに 14
製品の特長 14
パッケージ内容 15
製品の各部名称 16
本体 16
コントロールパネル 17
接続端子 18
リモコン（マウス機能付） 19
設置方法 20
プロジェクターの接続 20
コンピュータ/ノートパソコンとの接続 20
ビデオ機器との接続 21
プロジェクターの電源オン/オフ 22
プロジェクターの電源を入れる 22
プロジェクターの電源を切る 23
警告インジケータ 23
投写映像の調整 24
プロジェクターの高さを調整する 24
プロジェクターのズーム / フォーカスを調整する 25
投写映像サイズと投写距離（プロジェクターとスクリーンの距離） 25
ユーザーコントロール 26
コントロールパネルおよびリモコン 26
オンスクリーンメニュー 29
操作方法 29
メニューツリー（階層） 30
イメージ- I 31
イメージ - II 33
カラー 35
言語選択 37
プロジェクション設定 38
ランプ&電源設定 44
付録 45
故障かなと思ったら 45
ランプの交換 49
互換モード 50
RS232コマンド 51
天井への取り付け 52
Optoma 社 お問い合わせ先 53

安全上のご注意

ご使用の前に必ずお読みください。

正しくお使いいただくことでお使いになる方への危害および、財産への損害を未然に防ぐことができます。安全のために以下の警告事項、注意事項をお守りいただき、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

「安全上のご注意」の絵表示

⚠警告	⚠注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、死亡したり、人体に多大な損傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損傷を負う可能性又は物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

●絵記号の意味

この記号は注意（警告を含む）しなければならない内容であることを示しています。記号の中や近くに注意内容が示されています。

例） 「感電注意」を表す絵表示

この記号は禁止の行為（やってはいけないこと）を告げるものです。記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「分解禁止」を表す絵表示

この記号は必ず行っていただきたい行為を告げるものです。
記号の中や近くに具体的な内容が書かれています。

例） 「電源プラグを抜く」を表す絵表示

注意 ⚠

本製品は以下のようなところ（環境）で使用および保管をしないでください。
故障の原因となることがあります。

- 保温性・保湿性の高い（じゅうたん・カーペット・スポンジ・ダンボール・発泡スチロールなど）場所での使用（保管時は問題ありません）
- 湿気が多いところやホコリが多いところ
- 直射日光があたるところ
- 温湿度差の激しいところ
- 水気の多いところ（台所、浴室、水辺、海岸など）
- 腐食性ガス、油煙の中
- 静電気の影響が強いところ
- 熱の発生する物の近く（ストーブ、ヒーター、コンロなど）
- 強い磁力・電波の影響を受けるところ（磁石、ディスプレー、スピーカなどの近く）
- 振動や衝撃の加わる場所や傾いた場所

本製品は精密部品により構成されています。以下のことにご注意ください。

- 落としたり、衝撃を加えない
  万一、落としたり、衝撃を与えた場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
- 本製品の上に飲み物などの液体や、クリップなどの小部品を置かない
- 重いものを上にのせない
- 本製品のそばで飲食・喫煙などをしない
- 不安定な場所におかない。
- 不安定な置き方をしない。

ケーブルは足などに引っ掛けないように、配線してください。足を引っ掛けると、けがをしたり、接続機器の故障の原因になります。また、ケーブルの上に重いものを載せないでください。じゅうたんの下などに配線したときは気づかず重いものを載せてしまいがちですので十分注意してください。また、熱器具のそばに配線しないでください。ケーブル被覆が溶けたり、破れたりし、感電・ショート・火災の原因になります。ケーブル被覆が、溶けたり破れたりした場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。

ほかの電子機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響をおよぼし電波傷害をひきおこすことがあります。特に近くにテレビやラジオなどがある場合、音声が乱れたり、画像が乱れたりする場合があります。その場合は次のようにしてください。

- テレビやラジオなどからできるだけ離してください。
- テレビやラジオのアンテナの向きを変えてください。
- コンセントを別に分けてしてください。

安全上のご注意

厳守	長時間に渡って映像をみる場合は一定の間隔で休憩をとってください。
禁止	電源をオフにしてもランプ冷却のため排気ファンはしばらく回り続けます。冷却ファンが止まるまで電源ケーブルを抜かないでください。
禁止	ランプモジュールのお取り扱い時は、手袋などをして素手ではさわらないようにしてください。ランプモジュールのプラスチック部分以外は、絶対にさわらないでください。ガラスが汚れると使用中に破損する恐れがあります。
厳守	ご使用直後はランプモジュール部分は大変高温になっています。絶対に触れないでください。ランプモジュールの交換はご使用後１時間程度放置し、余熱が完全に取れてから行ってください。やけどの恐れがあります。
厳守	ランプモジュールを落とさないようご注意ください。 ガラスが割れ、けがをする恐れがあります。
禁止	リモコンは、指定の電池（単4型乾電池）以外は使用しないでください。 指定以外の電池を使用した場合、故障の原因となります。 また、リモコンは濡らさないでください。故障の原因になります。
厳守	電池を使い終ったときや、長時間使用しない時は取り出してください。 電池を入れたままにしておくと、過放電により液が漏れ、けが、故障などの原因となります。
厳守	電池取り付けには、極性に十分注意して取り付けてください。 （電池には＋極と－極があります。）故障の原因となります。
注意	本製品を使用中にデータなどが紛失した場合でも、データなどの保証は一切いたしかねます。 故障に備えて定期的にバックアップをお取りください。

警告 ⚠

厳守	煙がでている、へんなにおいがする、へんな音がするなどの異常が発生したときはすぐに使用を中止してください。万一異常が発生した場合は電源を切り、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。そのまま使用すると、感電したり、火災の原因になります。
水濡れ禁止	本製品を濡らさないでください。水気の多い場所で使用しないでください。お風呂場、台所、海岸・水辺での使用は火災・感電・故障の原因となります。
厳守	本製品を設置するときは、他の機器、壁などから適当な間隔をとってください。内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。目安として10cm以上の空間を空けてください。
禁止	本製品は紙、布などの柔らかいものや軽いものの上に設置しないでください。通気口（レンズに向かって右側面と、背面）に吸いついて内部の温度が上昇し、火災の原因となることがあります。また、通気口の近くや本体の上にリモコンなどの物を置かないで下さい。
禁止	本製品を使用するときは近くに燃えやすいものを置かないでください。 火災の原因となることがあります。
厳守	温度差のある場所への移動するとき、表面や内部が結露することがあります。結露した状態で使用すると、火災や感電の原因になります。使用するところで電源を入れずにそのまま数時間放置してからお使いください。
分解禁止	改造・分解はしないでください。お客様による修理は行なわないでください。 火災や感電、やけど、動作不良の原因になります。内部の点検、調整、修理、お手入れは販売店にご依頼ください。
禁止	本製品内部へ異物を入れないでください。金属類や燃えやすい物などを入れないでください。火災や感電の原因になります。特に通気口には異物がはいらないよう注意してください。
禁止	ぶつけたり、落としたりして衝撃を与えないでください。そのまま使用すると、火災や感電、故障の原因になります。万一、落としたり衝撃を与えた場合は使用を中止し、電源プラグを抜いて販売店にご連絡ください。
禁止	使用中はレンズをのぞかないでください。 レンズからは非常に強い光が発せらていて、目を痛める原因となりますので、絶対にのぞかないでください。

安全上のご注意

禁止	本製品は下記のようなところで使用しないでください。 故障の原因になったり、思わぬ事故のもとになります。 ● ほこりの多いところ ● 振動や衝撃の加わるところ ● 不安定なところ ● 通気口（レンズに向かって右側面と、背面）がふさがるとこ ● 温度差の激しいところ ● 水分や湿気の多いところ ● 温度が高いところ
禁止	使用中や使用後は通気口（レンズのある面）およびその回り、設置台が熱くなります。 やけどの原因になりますので、触らないでください。
厳守	ランプモジュールを交換するときは、必ず電源ケーブルをコンセントから抜いて行なってください。感電の原因となります。
禁止	電源ケーブルは付属のものを使用し、次のことに注意して取り扱ってください。取り扱いを誤ると、ケーブルが傷み、火災や感電の原因になります。 ● 引っ張ったり、折り曲げたりしない ● 圧力をかけたり、押しつけない、ものをのせない ● 加工しない ● 熱器具のそばで使わない
厳守	電源プラグはほこりが付着していないことを確認して使用してください。接触不良で火災の原因になります。電源プラグは根本までしっかりさしてください。根本までさしてもゆるみがある場合は接続しないでください。販売店や電気工事店に依頼し、コンセントを交換してください。電源コンセントはたこ足配線、テーブルタップやコンピューターなどの裏側の補助電源への接続をしないでください。
厳守	電源コードの抜き差しは必ずプラグ部分を持って行なってください。電源コードを引っ張るとケーブルが傷み、火災の原因になります。電源プラグをコンセントから抜き差しするときは、濡れた手で触らないで下さい。濡れた手で触ると感電の原因になります。

禁止	電池の液が漏れたときは、液に触れないでください。 ● 電池の液が目にはいったり、体や皮膚につくと失明やけが、炎症の原因となります。液が目に入ったときは目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分に洗い、ただちに医師の診察を受けてください。 ● 液が体や衣服についたときすぐに水道水などのきれいな水で充分洗い流してください。皮膚の炎症やけがの症状があるときは、医師に相談してください。
厳守	電池は小さなこどもの手の届かない場所に置いてください。電池は飲み込むと、窒息したり、胃などに障害をおこしたりする原因になります。万一、飲みこんだときは、ただちに医師に相談してください。
禁止	（＋）（－）を金属類で短絡させないでください。液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守	電池から液が漏れたら、すぐに火気より遠ざけてください。漏れた液やそこから発生する気体に引火して、発火・破裂の恐れがあります。
禁止	電池を火の中に入れたり、加熱・分解・改造・充電しないでください。また、水で濡らさないでください。 液が漏れたりして、けがややけどの原因となります。
厳守 注意 発火注意	電源ケーブルを取り扱つかうときは以下のことにご注意ください。 ● 電源ケーブルを無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったりしないでください。ケーブルを加工しないでください ● 電源ケーブルをコンセントから抜くときは、必ずプラグ部分を持って抜いてください。ケーブルを引っ張ると、ケーブルが傷み、火災・感電・故障の原因となります。 ● 濡れた手で電源ケーブルのプラグをコンセントに接続したり抜いたりしないでください。感電の原因となります。電源ケーブルがコンセントに接続されているときには濡れた手で本体に触らないで下さい。感電の原因となります。 ● 電源ケーブルのプラグは根本までしっかり差し込んでください。ほこりが付着していないことを確認してからおこなってください。接触不良で火災の原因となります。
厳守	本製品を使用する際は、接続するパソコンや周辺機器メーカーが指示している警告、注意表示を厳守してください。

使用上のご注意

設置場所について

本プロジェクターは300 Wのランプを使用しており、内部が大変熱くなります。以下の設置場所をお守りください。

- 風通しの良いところに設置してください。内部に熱がこもらぬ様、充分注意し、通気口（レンズに向かって右側面と背面）をふさぐことなく、充分な空気循環ができるようにしてください。
- 高温になる場所には設置しないでください。直射日光があたる場所や、熱器具（ストーブ、ヒーター、ホットカーペットなど）の近くに設置しないでください。
- 屋内で使用してください。屋外で使用することを前提に設計されてません。故障の原因になります。
- 設置場所は、強度が充分あるところに設置してください。高い場所への設置時は、ぶつかったり、落下したりしないことを充分に注意し、安全に設置してください。
- 油煙や腐食性のガスのあるところには設置しないでください。
- 振動や連続的な衝撃の加わるようなところには設置しないでください。

見る場所について

- 画面との距離を適度にとってご覧ください。
- 長時間見るときは適度に休憩をしてください。

お手入れについて

- レンズや本体が汚れたときは乾いた柔らかくきれいな布等で軽く拭いてください。汚れがひどいときは柔らかくきれいな布に水または中性洗剤を含ませて良く絞ってから軽く拭いてください。
- 水滴などがレンズについた場合はすぐに乾いた柔らかくきれいな布等で拭いてください。そのまま使用すると、表示面が変色したり、シミになったりする原因となります。また、水分がつくと故障の原因となります。
- 清掃を行なうときは、かならず電源を切り、電源コードをコンセントから抜いてください。

廃棄について

廃棄するときは、地方自治体が定める条例にしたがってください。

ランプの寿命について

- 本製品で使用しているランプモジュールには寿命があります。標準約2,000時間になります。交換時期になると警告メッセージが画面内に表示されます。ランプ交換のページの方法に従い、ランプモジュールを交換してください。
- ランプは消耗品扱いです。
- ランプモジュールの寿命はあくまで目安として提示されるもので、この限りではない場合があります。あらかじめご了承ください。
- ランプの寿命について
  ランプは個々の特性により、大きく差がございます。また、ご使用条件、環境、使用経過による劣化などにより、大きく寿命が異なる場合があります。予め交換用ランプを準備しておく事をお奨めいたします。

その他注意事項

- 保管時は高温多湿を避け、ほこりなどが進入しないよう保管して下さい。
- 長期間使用しないときは、コンセントから電源プラグを抜いてください。
- 持ち運びするときは、付属のソフトケースに入れて衝撃をあたえたり、雨に濡らしたりしないよう注意してください。
- レンズは傷つき易いので硬い物でおしたり、こすったり、たたいたりしないでください。また、強い圧力をレンズおよび周囲に与えないで下さい。破損の恐れがあります。
- やむを得ず宅配便などで郵送する際は、オプションの専用ハードケースを利用するか、購入時のダンボールとクッションをお使いすることをおすすめします。
- Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Me、Windows 2000は米国マイクロソフトコーポレーションの米国およびその他の国における登録商標です。
- 本書の内容の一部または全部を無断転載することはかたくお断りいたします。
- 本書の内容については、将来予告なしに変更するばあいがあります。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

安全について

	矢の付いた稲妻の形をした灰色の正三角形は、製品パッケージ内に絶縁していない感電の恐れがある「危険電圧」が存在することを警告するためのものです。
	正三角形に感嘆符のある記号は、製品の操作および保守点検（修理）に関する重要な指示を示します。

警告：火災や感電の危険を軽減するため、本製品に雨や水気がかからないようにしてください。本製品内部には、危険な高電圧が存在します。キャビネットを開けないでください。修理は必ず有資格者に依頼してください。

クラス B 電波障害規制

このクラス B 装置は、カナダ電波障害発生装置規則のすべての要件を満たしています。

安全に関する重要なご注意

1. ご使用の前に必ずお読みください。
2. いつでも見られるところに必ず保管してください。
3. すべての注意事項をお守りください。
4. 製造元の指示に従って設置してください。
   A. 通気口を塞がないでください
   本製品の安定した作動を確保し、オーバーヒートを避けるため、プロジェクターを適切な通気の妨害がない場所に置いてください。たとえば、ベッドやソファー、カーペットなど、通気口が塞がれる可能性のある所には置かないでください。通気口から空気が流れないような本棚やキャビネットなどの囲まれた場所に置かないでください。
   B. 本プロジェクターを水気の多い場所で使用しないでください。火災や感電の危険を軽減するため、本プロジェクターに雨や水気がかからないようにしてください。
   C. 熱を発生するラジエータ、ストーブ、その他の器具（アンプなど）といった熱器具の近くに設置しないでください。
5. 必ず乾いた布で拭いてください。
6. 製造元が指定した部品/付属品のみを使用してください。
7. 修理は必ず有資格者に依頼してください。次のようにプロジェクターが破損した場合は、修理が必要になります。
   - 電源コードのプラグなどが破損した。
   - 液が漏れたり、プロジェクターに物が入った。
   - プロジェクターに雨や水気がかかり、正常に動作しない。またはプロジェクターを落とした。

   プロジェクターをご自分で修理しないでください。カバーを開けたり、取り外したりすると、危険電圧やその他の危険が生じる恐れがあります。Optomaに最寄りの認定修理センターをお尋ねください。
8. プロジェクターに物や液体が入らないようにしてください。危険な電圧点に触れたり部品がショートすると、火災や感電の原因になります。
9. プロジェクターのケースに記載の安全に関する記号を確認してください。
10. プロジェクターの調整や修理は、必ず有資格者が行ってください。

安全上のご注意

本製品を安全に正しくお使いいただくために、本取扱説明書に記載のすべての警告、注意事項、メンテナンス方法をお守りください。

⚠警告- ランプ点灯中は、プロジェクタレンズをのぞかないでください。 強力な光線により、視力障害が引き起こされる恐れがあります。

⚠警告- 火災や感電の原因となるため、本製品を雨や湿気にさらさないようにしてください。

⚠警告- 本製品のカバーを外したり、本体を分解したりしないでください。感電する恐れがあります。

⚠警告- ランプを交換する際は、本体の熱が冷めてから行い、取扱説明書に記載の指示に従ってください。

⚠警告- この製品は、ランプの寿命を自動的に検知します。 警告メッセージが表示されたら、必ずランプを交換してください。

⚠警告- ランプモジュールを交換した場合は、オンスクリーンメニューの「ランプ&電源設定」にある「ランプリセット」機能をリセットしてください（44ページを参照してください）。

⚠警告- 冷却サイクルが完了したことをご確認の上、プロジェクタの電源コードを抜いてください 。

⚠警告- プロジェクタの電源を入れてから信号源を設定してください。

⚠警告- プロジェクタが動作中は、レンズキャップを使用しないでください。

⚠警告- ランプが寿命に近づくと「ランプを交換してください」というメッセージが表示されます。お近くの販売店やサービスセンターにご連絡、すぐにランプを交換してください。(詳細は49ページをご参照ください)。

使用上のご注意

推奨事項:

- お手入れをするときは、プロジェクターの電源を切ってください。
- ディスプレー筐体は、中性洗剤で軽く湿らせた柔らかい布で拭いてください。
- 本製品を長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。

禁止事項:

- 本体の通風用のスロットや開口部を塞がないでください。
- 本体を研磨材入りクリーナー、ワックス、溶剤などでお手入れしないでください。
- 以下のような環境下では使用しないでください。
  - 極端に気温の高い、低い、あるいは湿気の多い場所。
  - 大量のほこりや汚れにさらされる場所。
  - 強い磁場を生成する機器の近く。
  - 直射日光の当たる場所。

眼の安全保護について

- プロジェクターが動作中は、レンズをのぞかないでください。
- プロジェクターの光源に向いて立たないでください。出来る限り、離れてください。

製品の特長

Optomaプロジェクターをお選びいただきましてありがとうございます。この製品はXGAシングルチップ0.7” Dark-chip3 DLP®プロジェクターです。以下の優れた機能が搭載されています。

- 0.7型XGA(1024×768)DC3 DMD™パネル
- 単板DLP™　方式
- HDTV(480i / P, 576i / P、720P、1080i / P)
  Full NTSC, NTSC 4.43, PAL, PAL-M, PAL-N, SECAM
- マルチオート機能 : 自動捜索機能、ユーザ変更設定を自動的に保存
- マウス機能付き 赤外線リモコン（レーザーポインタ付）
- 操作が簡単な多言語対応オンスクリーンメニュー
- デジタルキーストン補正（台形補正）および高品質フルスクリーン画像リスケール
- 操作が簡単なコントロールパネル
- 2Wアンプ内蔵スピーカー搭載（2台）
- 多数の音声入力
- コンピュータ互換
  UXGA, SXGA+, XGA, SVGA, VGA, VESA,
  PC, Macintosh
- Mac対応
- DVI-D, VGA(RGB／Y・Pb・Pr)X2, S-Video, Video, AudioX3
- ネットワーク機能(LAN / RS232)のサポート

登録商標
BriliantColor™, DLP™, DMD™はテキサスインスツルメンツ社の登録商標です。
※SVGA, XGA, WXGA™はIBM corp.の登録商標です

パッケージ内容

本機には、以下のアイテムが含まれています。すべてのアイテムが揃っているかご確認ください。不足品がある場合には、ただちの買い求めの販売店へご連絡ください。

プロジェクター本体
（レンズキャップ付き）

電源コード（1.8m）

VGAケーブル（1.8m）

コンポジットビデオケーブル（1.8m）

USBケーブル（1.8m）

RS232ケーブル（1.8m）

NOTE

❖ 国により、梱包されるアイテムが異なります。

S-Videoケーブル（1.8m）

単四電池（2本）

SCART VGA / S-Videoアダプタ(オプションのアクセサリ)

ワイヤレスリモコン

付属書類：

- ☑ 取扱説明書
- ☑ クイックスタートカード
- ☑ 保証書
- ☑ トラブル解決クイックガイド
- ☑ WEEEカード

電源コードについて注意事項：

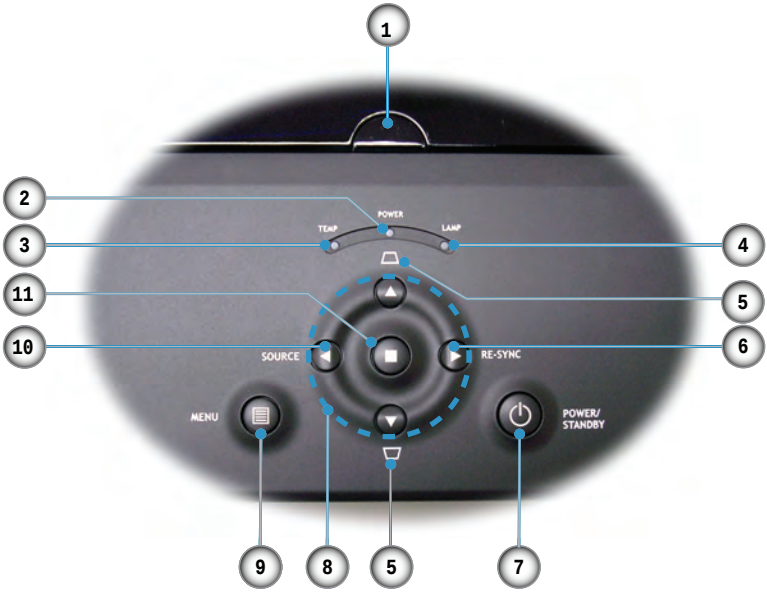
1. 必ずアース接続を行ってください。
2. アース接続は必ず電源プラグを電源につなぐ前に行って下さい。また、アース接続を外す場合は、必ず電源プラグを切り離してから行って下さい。
3. 本製品付属電源ケーブルは日本国内仕様（AC100V）になりますので、海外では使用できません。

製品の各部名称

本体

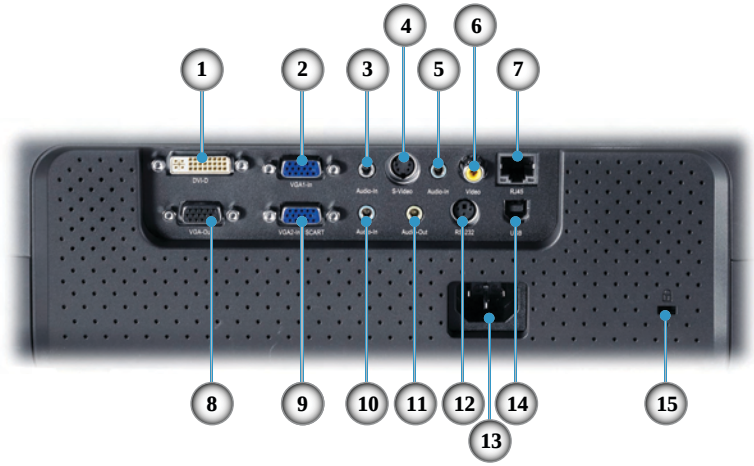
1. コントロールパネル
2. ズームレバー
3. フォーカスリング
4. エレベータボタン（両側各1個）
5. エレベータフット（両側各1個）
6. ズームレンズ
7. リモコン受光部
8. 電源ソケット
9. 接続端子

コントロールパネル



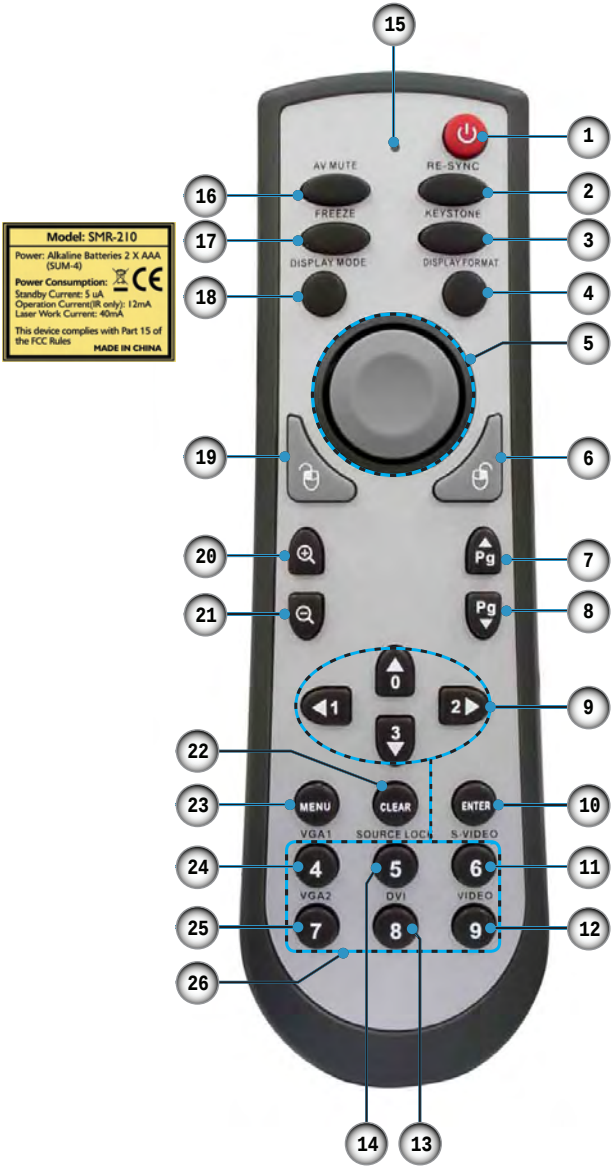
1. リモコン受光部
2. 電源 / スタンバイLED
3. 温度インジケータLED
4. ランプインジケータLED
5. キーストン + / -
6. 再同期
7. 電源 / スタンバイ
8. 4方向選択キー
9. メニュー（オン / オフ）
10. ソース選択
11. ENTER

接続端子



1. DVI-D入力端子（PCデジタル / HDTV / HDCP入力）
2. VGA1入力端子（PCアナログ信号 / HD / コンポーネントビデオ入力用）
3. 音声入力端子（DVI-DまたはVGA1入力用）
4. S-VIDEO入力端子
5. 音声入力端子（S-ビデオまたはコンポジット用）
6. コンポジットビデオ入力端子
7. ネットワーク端子RJ45
8. モニタループスルー出力端子
9. VGA2入力SCART端子（PCアナログ信号 / SCART RGB / HD / コンポーネントビデオ入力用）
10. 音声入力端子（VGA2入力SCART用）
11. 音声出力端子
12. RS232端子
13. 電源ソケット
14. USB端子（PCと接続 / リモートマウス機能用）
15. Kensington™ロックポート

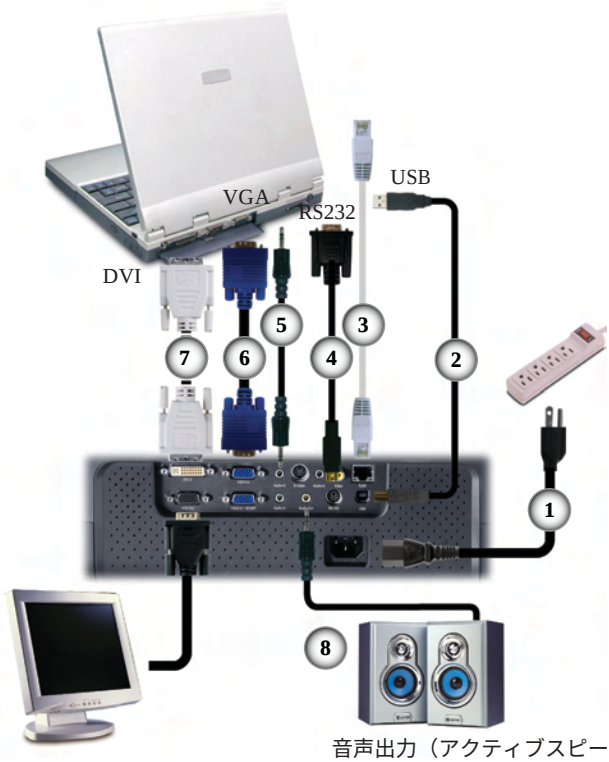
リモコン（マウス機能付）



1. 電源
2. 再同期
3. キーストン補正
4. ディスプレイ方式
5. マウス
6. マウス右クリック
7. マウスページアップ
8. マウスページダウン
9. 4方向選択キー
10. ENTER
11. S-VIDEOソース
12. コンポジットビデオソース
13. DVIソース
14. ソースロック
15. ボタンLED
16. AV ミュート
17. 画面のフリーズ
18. ディスプレイモード
19. マウス左クリック
20. ズームイン
21. ズームアウト
22. クリア
23. メニュー
24. VGA1ソース
25. VGA2ソース
26. 数字ボタン

プロジェクターの接続

コンピュータ/ノートパソコンとの接続



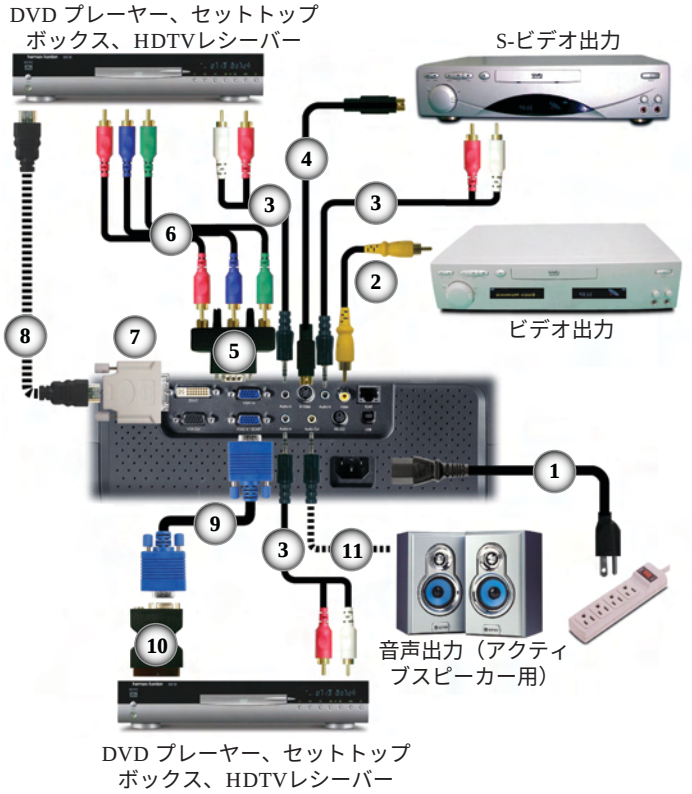
音声出力（アクティブスピーカー用）

NOTE

- 付属品は国によって異なる場合があります。

1.....電源コード
2.....USBケーブル
3.....ネットワークケーブル
4.....RS232ケーブル
5.....音声入力ケーブル
6.....VGA-VGAケーブル
7.....DVI-DVI ケーブル
8.....音声出力ケーブル

ビデオ機器との接続



NOTE

- 付属品はお住まいの国や地域によって異なる場合があります。

1. 電源コード
2. コンポジットビデオケーブル
3. 音声入力ケーブル
4. S-Video（S-ビデオ）ケーブル
5. VGA-3 RCAコンポーネント / HDTVアダプタ
6. RCA コンポーネントケーブル（YPbPr用）
7. HDMI 対DVIアダプタ
8. HDMIケーブル
9. VGA-VGAケーブル
10. SCART VGA / S-ビデオアダプタ
11. 音声出力ケーブル

プロジェクターの電源オン/オフ

プロジェクターの電源を入れる

1. レンズキャップを取り外してください。 ❶
2. 電源コードと信号ケーブルが正しく接続されていることを確認して下さい。 正しく接続されている場合は、電源LEDが赤く点灯します。
3. コントロールパネルの [電源 / スタンバイ] ボタンを押してランプの電源を入れます。❷ 電源LEDが緑になります。
4. ソース（コンピュータ、ノートパソコン、ビデオプレーヤー等）の電源を入れます。 プロジェクタは[プロジェクション設定]メニュー内でソースを自動的に検出します。「ソースロック」が「自動捜索」に設定されていることを確認してください。

❖ 画面に「信号なし」が表示されたら、信号ケーブルがしっかり接続されていることを確認してください。

NOTE

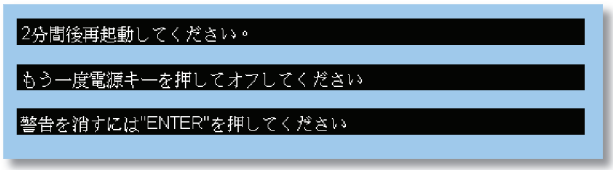
❖ プロジェクタの電源を入れてから信号源を設定してください。

レンズキャップ

電源 / スタンバイ

プロジェクターの電源を切る

1. 「電源 / スタンバイ」ボタンを押すと画面に次のメッセージが表示されます。「



」もう一度「電源 / スタンバイ」ボタンを押して電源を切ります。表示を消すには「ENTER」ボタンを押します。電源が切れると電源LEDが赤で点滅します。

2. 電源を切った後、約2分間はランプを冷却するためにファンが回ります。この間は [電源 / スタンバイ] ボタンを押しても電源は入りません。電源LEDが赤の点滅から赤く点灯すればスタンバイ状態で、[電源 / スタンバイ] ボタンを押すことで電源を入れることができます。

3. 電源コードをコンセントおよびプロジェクターから抜きます。電源が入った状態で電源プラグを抜かないでください。故障の原因になります。

警告インジケータ

- [TEMP（温度）] インジケータが赤く点灯した場合は、プロジェクターが過熱状態であることを意味します。プロジェクターの電源が自動的に切れます。冷却ファンが回り内部の温度が下がるとスタンバイ状態に戻り電源を入れることができます。なお電源を入れる前に吸気口と排気口がふさがれていないことを確認してください。繰り返しこの症状が起きる場合は、最寄りの販売店あるいは弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。
- [LAMP（ランプ）] インジケータが赤く点灯した場合は、ランプに問題が発生したことを意味します。プロジェクターの使用を中止し、コンセントから電源コードを抜いて、最寄りの販売店あるいは弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。詳細は53ページをご参照ください。
- [LAMP（ランプ）] インジケータが赤く点滅した場合は、ファンが正常に機能していないことを意味します。プロジェクターの使用を中止し、コンセントから電源コードを抜いて、最寄の販売店あるいは弊社カスタマーサービスまでご連絡ください。詳細は53ページをご参照ください。

投写映像の調整

プロジェクタの高さを調整する

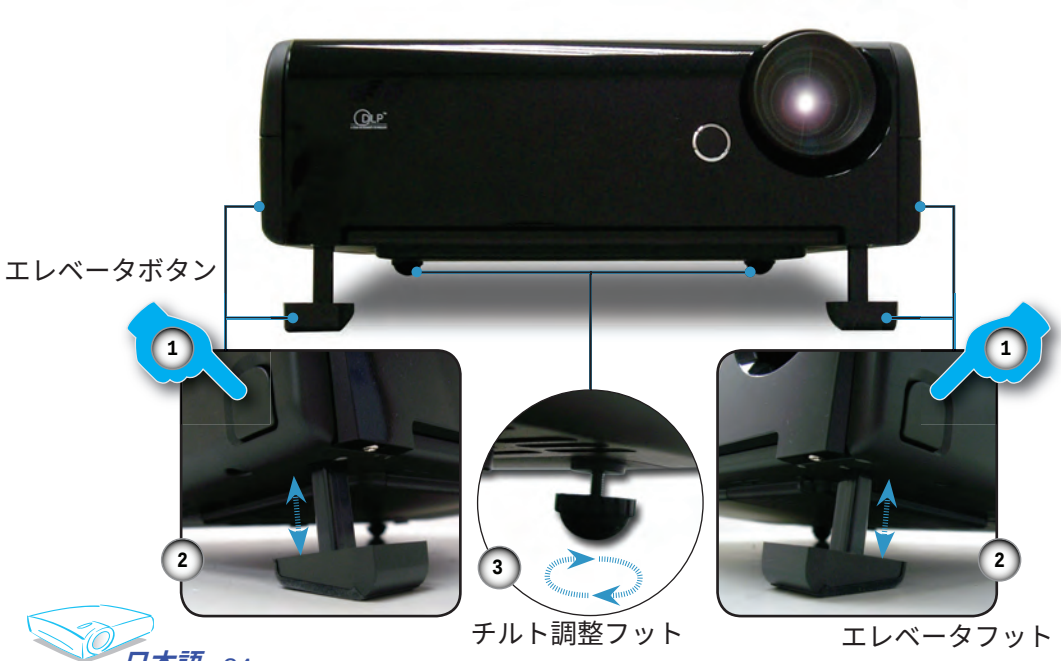
本プロジェクターには、投写映像の高さを調整するためのエレベータフットが付いています。

映像を上に移動するには :

1. エレベータボタンを押します ❶。
2. 画像を好みの表示位置まで上げ ❷、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。
3. 画像の傾きは、チルト調整フットを使って❸、傾きを調整します。

映像を下に移動するには :

1. エレベータボタンを押します。
2. 画像を好みの表示位置まで下げ、ボタンを放してエレベーターフットを固定してください。



プロジェクターのズーム / フォーカスを調整する

ズームリングを回して、画像の大きさを調整します。フォーカスリングを回して、画像が最も鮮明に映るように調整します。本プロジェクターは、投射距離1.0～12.2mの範囲でフォーカスを合わせることができます。

投写映像サイズと投写距離（プロジェクターとスクリーンの距離）

■投写距離表

「アスペクト比4:3」

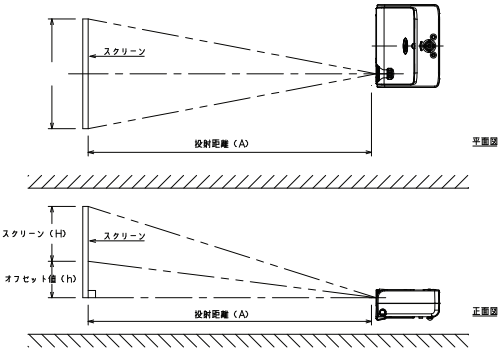
スクリーンサイズ（型）	投写距離（A）		オフセット値（h） ［スクリーン端～レンズセンターまで］
	最短	最長	
50	約2.03m	約2.44m	約11cm
60	約2.44m	約2.93m	約14cm
70	約2.84m	約3.41m	約16cm
80	約3.25m	約3.90m	約18cm
90	約3.66m	約4.39m	約21cm
100	約4.06m	約4.88m	約23cm
120	約4.88m	約5.85m	約27cm
150	約6.10m	約7.32m	約34cm
200	約8.13m	約9.75m	約46cm
250	約10.16m	約12.19m	約57cm
300	約12.19m	約14.63m	約69cm

「アスペクト比16:9」

スクリーンサイズ（型）	投写距離（A）		オフセット値（h） ［スクリーン端～レンズセンターまで］
	最短	最長	
50	約2.22m	約2.65m	約23cm
60	約2.66m	約3.18m	約27cm
70	約3.10m	約3.71m	約32cm
80	約3.55m	約4.25m	約37cm
90	約3.99m	約4.78m	約41cm
100	約4.43m	約5.31m	約46cm
120	約5.32m	約6.37m	約55cm
150	約6.65m	約7.97m	約69cm
200	約8.86m	約10.62m	約91cm
250	約11.07m	約13.28m	約114cm
300	約13.29m	約15.94m	約137cm

（注）投射距離（A）は計算値のため若干変動します。

■投写関係図



（注）この図面は正確な縮尺ではありません。

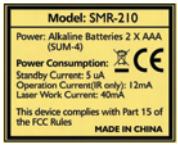
ユーザーコントロール

機能を設定する方法は、次の2通りあります: リモコンおよびコントロールパネル。

コントロールパネルおよびリモコン

Power/ Standby(電源/スタンバイ)	22～23ページの「プロジェクターの電源オン / オフ」を参照してください。
Source (ソース)	[ソース]を押して入力信号を選択します。
Menu (メニュー)	メニューのオン / オフを切り替えます。
4方向選択キー	▲▼◀▶を使ってメニューをナビゲートします。
Enter	選択した項目を確定します。
▽/△ キーストン	プロジェクタを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します（±16度）。
Re-Sync(再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。

ユーザーコントロール



リモコンのボタン

Power (電源)	22～23ページの「プロジェクターの電源オン / オフ」を参照してください。
Re-Sync (再同期)	プロジェクターを自動的に入力ソースと同期化します。
Keystone (キーストン)	プロジェクタを斜め方向から投写することにより生じる、画像のゆがみを調整します（±16度）。
Display Format (ディスプレイ方式)	オンスクリーンメニューの [ディスプレイ方式] を表示し、お好みのアスペクト比を選択します。
AV Mute (AV ミュート)	映像と音声をオフします。もう一度押すと**AV** ミュートを解除し、元に戻ります。
Freeze (画面のフリーズ)	[画面のフリーズ] ボタンを押すと、スクリーン画像が一時停止します。 このボタンをもう一度押すとロック解除されます。
Display Mode (ディスプレイモード)	ディスプレイモードを、PC、Photo、Video、sRGB、User の中から選択します。
マウスコントロール	このボタンを押して、ページ上のマウスを移動させます。
マウス右クリック	マウスを右クリックします。
マウス左クリック	マウスを左クリックします。
ページアップ	このボタンを押して、ページを上に移動します。
ページダウン	このボタンを押して、ページを下に移動します。
ズームイン	ズームインして画像を拡大します。
ズームアウト	ズームアウトして画像を縮小します。
4方向選択キー	▲▼◀▶ を使ってメニューをナビゲートします。

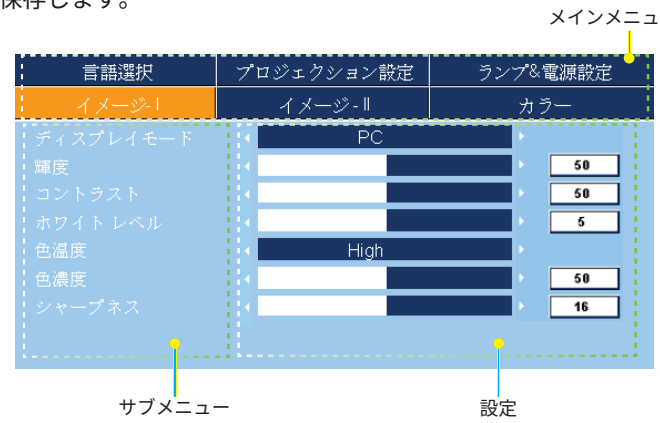
Menu (メニュー)	プロジェクターのオンスクリーンメニューを表示/終了します。
Clear（クリア)	選択を消去します。
Enter	選択した項目を確定します。
Source Lock (ソースロック)	全接続ポートを自動捜索するか、現在の接続ポートをロックするかを選択します。 (詳細は、38ページをご参照ください)
Video (ビデオ)	コンポジットビデオソースを選択します。
S-Video (S-ビデオ)	S-VIDEOソースを選択します。
VGA1	プライマリVGA入力ソースを選択します。
VGA2	セカンダリVGA入力またはSCARTソースを選択します。
DVI	DVI-Dソースを選択します。

オンスクリーンメニュー

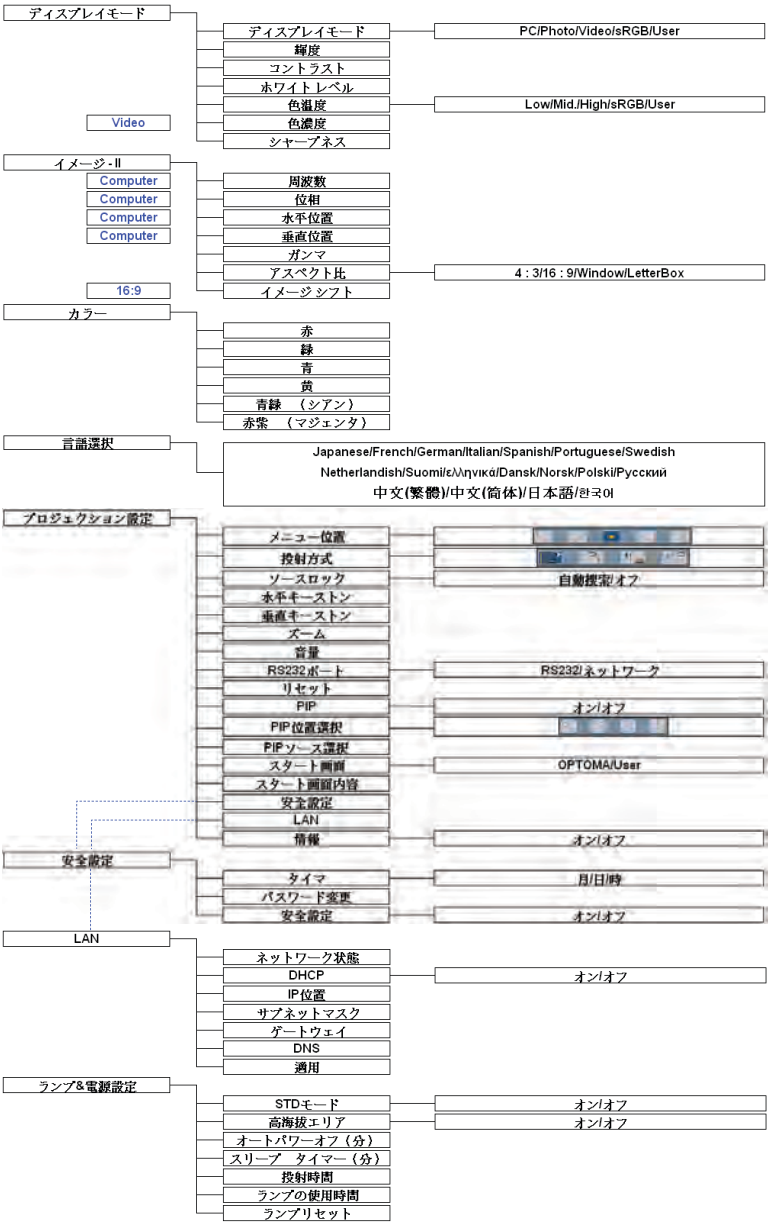
本プロジェクターでは、多言語対応オンスクリーンメニューを使って、画像調整やさまざまな設定の変更を行うことができます。

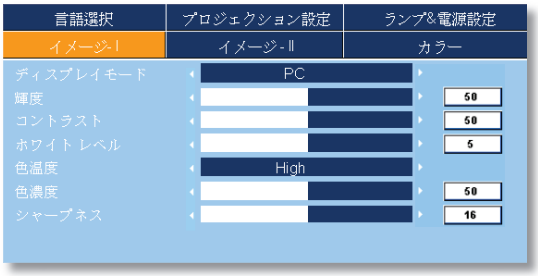
操作方法

1. オンスクリーンメニューを開くには、リモコンまたはコントロールパネルの [メニュー] ボタンを押します。
2. OSDが表示されたら ◀▶ キーを使ってメインメニューの任意の項目を選択します。 特定のページを選択し、▼ キーを押してサブメニューに進みます。
3. ▲▼ キーを使って目的の項目を選択し、◀▶ キーで設定値を調整します。
4. サブメニューから次に調整したい項目を選択し、上記手順と同様に設定値を調整します。
5. [メニュー] ボタンを押すと設定が確定し、スクリーンはメインメニューに戻ります。
6. 終了するには、もう一度 [メニュー] ボタンを押します。 オンスクリーンメニューが閉じ、プロジェクターは自動的に新しい設定を保存します。



メニューツリー（階層）


ディスプレイモード
ディスプレイモード
PC/Photo/Video/sRGB/User
輝度
コントラスト
ホワイト レベル
色温度
Low/Mid./High/sRGB/User
Video
色濃度
シャープネス
イメージ - II
Computer
周波数
Computer
位相
Computer
水平位置
Computer
垂直位置
ガンマ
アスペクト比
4 : 3/16 : 9/Window/LetterBox
16:9
イメージ シフト
カラー
赤
緑
青
黄
青緑 （シアン）
赤紫 （マジェンタ）
言語選択
Japanese/French/German/Italian/Spanish/Portuguese/Swedish
Netherlandish/Suomi/ελληνικά/Dansk/Norsk/Polski/Русский
中文(繁體)/中文(简体)/日本語/한국어
プロジェクション設定
メニュー位置
投射方式
ソースロック
自動探索/オフ
水平キーストン
垂直キーストン
ズーム
音量
RS232ポート
RS232/ネットワーク
リセット
PIP
オン/オフ
PIP位置選択
PIPソース選択
スタート画面
OPTOMA/User
スタート画面内容
安全設定
LAN
情報
オン/オフ
安全設定
タイマ
月/日/時
パスワード変更
安全設定
オン/オフ
LAN
ネットワーク状態
DHCP
オン/オフ
IP位置
サブネットマスク
ゲートウェイ
DNS
適用
ランプ&電源設定
STDモード
オン/オフ
高海抜エリア
オン/オフ
オートパワーオフ（分）
スリープ タイマー（分）
投射時間
ランプの使用時間
ランプリセット



イメージ- *I*

ディスプレイモード

さまざまな映像に最適化されたプリセット設定が用意されています。

- PC: コンピュータ / ノートパソコン用
- Photo: 明るい環境下でカラーを最適化します。
- Video: 明るい環境下でビデオを再生します。
- sRGB: 標準PCカラー用
- User: ユーザー設定用。

輝度

画像の明るさを調整します。

- ◀を押すと画像が暗くなります。
- ▶を押すと画像が明るくなります。

コントラスト

コントラストは、画像や映像の最暗部（黒）と最明部（白）の差の度合いを調整します。 コントラストを調整すると、画像の黒と白の量が変化します。

- ◀を押すとコントラストが下がります。
- ▶を押すとコントラストが上がります。

ホワイト レベル

ホワイト レベルを使ってDMDチップのホワイトレベルを設定します。 0 は最低レベル、10は最大レベルを表します。 画像をより明るくしたい場合は、最大設定方向に調整します。 画像をよりスムーズに、より自然にしたい場合は、最小設定方向に調整します。

色温度

色温度を調整します。 温度が高いと、青みの強い冷たい雰囲気の映像になり、温度が低いと、赤みの強い暖かい雰囲気の映像になります。 それぞれのディスプレイモードには独自の色温度があり、ユーザーの選択を記憶します。 例 ：

ディスプレイモード	PC	Photo	Video	sRGB	User
色温度	sRGB	低	User	高	中

NOTE

カラー設定の項目を調整すると色温度の設定は、自動的に [User] に切り替わります。 (詳しくはp.35の「カラー」を参照してください。)

色濃度

ビデオ映像の色の濃さを調整します。

- ◀を押すと画像の色が薄くなります。
- ▶を押すと画像の色が濃くなります。

シャープネス

画像のシャープネスを調整します。

- ◀を押すと画像がソフトになります。
- ▶を押すと画像がくっきりとします。

❖ 「色濃度」機能はVideoモードでのみサポートされます。

イメージ - II

周波数

「周波数」を調整して、ディスプレイデータ周波数を、コンピュータのグラフィックカード周波数に適合させます。 映像に縦の縞模様やちらつきが表れる場合は、この機能を使って調整します。

位相

「位相」は、ディスプレイの信号タイミングとグラフィックカードを同期化します。 画像が乱れたりちらついたりする場合は、この機能を使って修正します。

水平位置

- ◀を押すと画像が左に移動します。
- ▶を押すと画像が右に移動します。

垂直位置

- ◀を押すと画像が下に移動します。
- ▶を押すと画像が上に移動します。

ガンマ

あらかじめ用意したガンマテーブルを選択することで、好みの画質を選択することができます。

アスペクト比

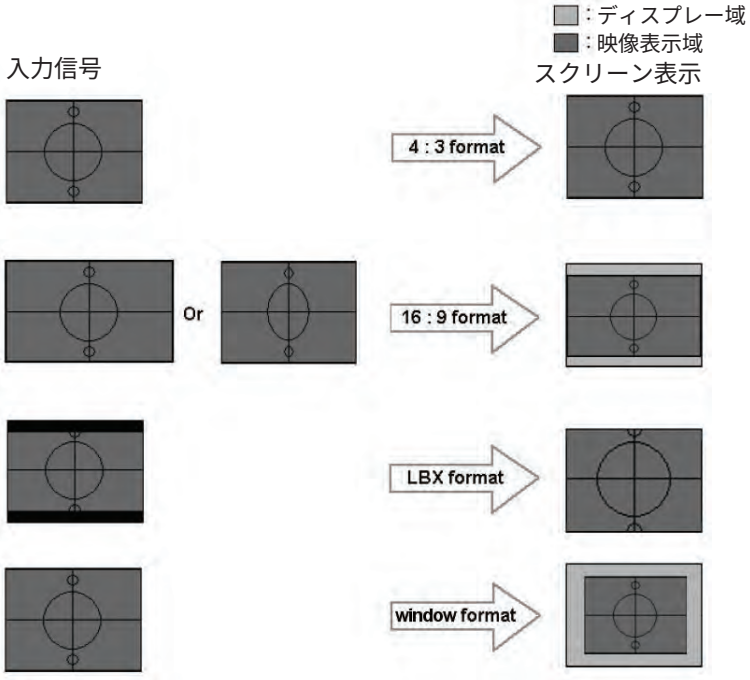
ここで、ご希望のアスペクト比を選択します。

- 4:3 : 入力ソースは、標準の投写スクリーンサイズに合うようリサイズされます。
- 16:9 : 入力ソースは、画面の幅に合うようリサイズされます。
- Window: 4:3映像が16:9スクリーンからはみ出す場合、「Window」モードを選択すると、投写距離を変更することなく映像をスクリーンサイズにリサイズすることができます。

NOTE

- [周波数]、[位相]、[水平位置]、[垂直位置] 機能がコンピュータモードでのみサポートされています。

- LetterBox: 16x9ではないLetterBoxソースを投写する場合に選択します。



NOTE

- イメージ シフト: Windowモードの画像位置は、アスペクト比16:9で設定した位置と同じになります。

イメージ シフト

アスペクト比を16:9に設定しているときは、ここで画像位置を上下に調整します。

- ◀を押すと画像が下に移動します。
- ▶を押すと画像が上に移動します。

カラー

カラー

フルレンジ:すべての画面に対して赤、緑および青色を調整します。

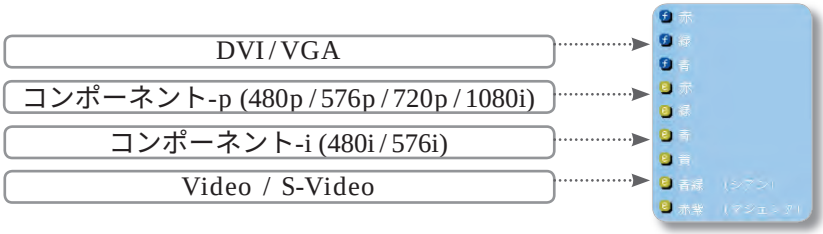
各色強化: 赤、緑、青、黄、青緑（シアン）、赤紫（マジェンタ）の各色を個別に微調整することができます。

色設定アイテムを調整するとき、色温度は[User]として自動的に設定されます。 この設定[User]は、すべてのディスプレイモードで同じです。例:

アイコン	色温度
L	低
M	中
H	高
S	sRGB
U	User

ユーザーコントロール

異なる色設定は、4つの異なるソースグループで記憶されます。 しかし、ソースが同じであれば設定も同じです。



色設定を調整すると色温度設定が[User]に自動的に切り替わりますが、色設定は切り替える前の色温度設定を基にします。
例 :

1.) 色温度が〔High〕場合。

2.) 色温度〔High〕を基にしてお気に入りの色を作成します。このとき色温度設定が[User]に切り替わりここで作成した色を[User]に保存します。

言語選択

言語選択

多言語対応オンスクリーンメニューをご希望の言語に設定します。
▲ または ▼ キーを使ってお好みの言語を選択します。
[ENTER] を押すと選択が確定されます。

ユーザーコントロール

プロジェクション設定

メニュー位置

スクリーン上に表示されるメニューの位置を選択します。

投射方式

- フロント

  工場出荷時の初期設定。

- リア

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の左右を反転します。プロジェクターを透過スクリーンの後ろに設置します。

- フロント－天井

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の上下左右を反転します。プロジェクターを天井に逆さに吊り下げて設置します。

- リアー天井

  この機能を選択すると、プロジェクターは映像の上下を反転します。プロジェクターを透過スクリーンの後ろ天井に逆さに吊り下げて設置します。

ソースロック

- 自動捜索: 接続した入力端子の信号がなくなると信号が入力されている入力端子を自動的に探します。
- ロック: 入力信号の有無に関係なく選択した接続端子に固定します。

水平キーストン

◀または▶を押して、左右斜め方向から投影したときにおきる台形ひずみを補正します。

垂直キーストン

◀または▶を押して、上下斜め方向から投影したときにおきる台形ひずみを補正します。

ズーム

- ◀を押すと拡大された映像を縮小します。
- ▶を押すと投影した映像を拡大します。

音量

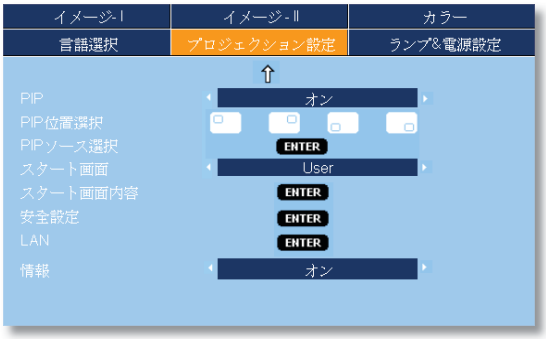
- ◀を押すと音量が下がります。
- ▶を押すと音量が上がります。

RS232ポート

- RS232: プロジェクタを個別にRS232から操作することができます。
- ネットワーク: Webブラウザ(Internet Explorer)経由でLANがプロジェクタを操作することができます。

リセット

[Enter]を押すと変更した値や設定を、工場出荷時設定に戻します。



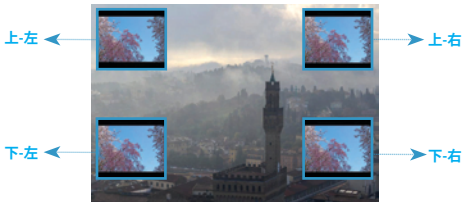
プロジェクション設定

PIP

[オン]を選択するとPIP画面がオンになり、[オフ]を選択するとPIP画面がオフになります。

PIP位置選択

ディスプレイ画面でPIP画面位置を選択します。



PIPソース選択

[Enter]を押してPIP画面ソースを切り替えます。 (詳細は40ページをご参照ください。)

PIPルール表

メインソース	サブソース				
	DVI-D	VGA	コンポーネント-p	S-ビデオ	ビデオ
DVI-D (デジタルRGB / HDCP)	×	×	×	✓	✓
VGA (アナログRGB)	×	×	×	✓	✓
コンポーネント-p(480p / 576p / 720p / 1080i)	×	×	×	✓	✓
S-ビデオ	×	×	×	×	×
Video	×	×	×	×	×

スタート画面

ここで、ご希望の起動画面を選択します。設定を変更すると次に電源を入れたときに新しい設定が有効になります。

- OPTOMA: Optomaプロジェクターのデフォルトの起動画面。
- USER:「スタート画面内容」で取り込んだ映像を使用します。

スタート画面内容

[Enter]を押すと、ディスプレイ画面に表示された映像を直ちに取り込みます。

安全設定

- ***最初***

1. *[Enter]を押してパスワードを設定します。*
2. *パスワードは4桁で、デフォルトでは「0000」に設定されています。(最初)*
3. *リモコンの数字ボタンを押してパスワードを入力し、[ENTER] キーを押して確定します。*

- タイマ (月/日/時):
  時間機能を選択して、プロジェクターの使用可能時間数を設定します。安全設定が「オン」の場合、設定したこの時間が経過すると、プロジェクターからパスワードを入力するよう要求されます。(パスワードは、リモコンの数字ボタンを使います。) パスワードを入力しなかったり、間違って入力するとプロジェクターの電源が切れます。
- パスワード変更:
  1. [Enter]を押すとパスワード入力画面に変わります。

2. 数字ボタンを使って現在のパスワードを入力し、[Enter] を押します。初期設定は「0000」です。
3. 新しいパスワードを入力し、[Enter] を押します。
4. 新しいパスワードをもう一度入力し、[Enter] を押して確定します。
5. [MENU]を押して元のメニュー画面に戻ります。

- 安全設定:

  オン: [オン] を選択すると、プロジェクタの電源を入れるときにセキュリティー認証を行います。

  オフ: [オフ] を選択すると、セキュリティー認証を行うことなくプロジェクタの電源を入れることができます。

LAN

[Enter]を押してLAN設定を適用します。 接続が正常に行われると、OSDは次のダイアログボックスを表示します。

- ネットワーク状態: ネットワーク状態を表示します。
- DHCP:
  - オン: DHCPサーバからプロジェクターにIPアドレスを自動的に割り当てます。
  - オフ: IPアドレスを手動で割り当てます。
- IP位置: IPアドレスを選択します。
- サブネットマスク: サブネットマスク番号を選択します。
- ゲートウェイ: プロジェクタに接続されたネットワークのデフォルトゲートウェイを選択します。
- DNS: DNS番号を選択します。
- 適用: [ENTER] を押すと選択が適用されます。

情報

画面にソース情報を表示するには。

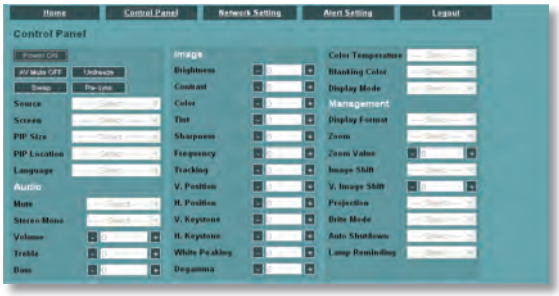
Webブラウザを使用してプロジェクターを操作する方法

1. ダイアログボックスに新しいIP、サブネットマスク、ゲートウェイ、DNSを入力します。

2. 適用を選択し、[Enter]ボタンを押して設定プロセスを有効にします。
3. お使いのWebブラウザを開き、OSD LAN画面から入力すると、次のようなWebページが表示されます。

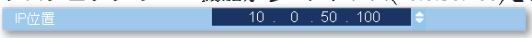
- プロジェクタのIPアドレスを使用すると、サービスセンターにリンクすることができません。

4. [コントロールパネル]を開いてプロジェクターを操作します。



***例**: Microsoft Internet Explorer (IE) Webブラウザを使用してプロジェクターを操作します。IPアドレスはhttp: // 10.0.50.100です。*

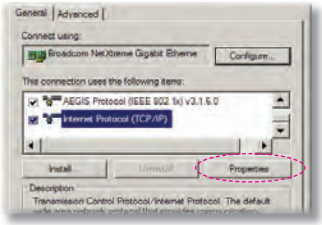
ステップ1: プロジェクタのLAN機能からIPアドレス(10.0.50.100)を検索します。



ステップ2: 適用を選択し、[Enter]ボタンを押して機能を送信するか、[menu]キーを押して終了します。

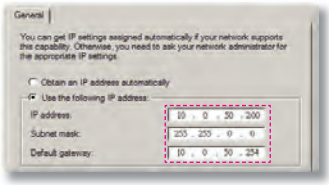
ステップ3: ネットワーク接続を開くには、**[スタート]**、**[コントロールパネル]**、**[ネットワークとインターネット接続]**、**[ネットワーク接続]**を続けてクリックします。 設定する接続をクリックし、次に、**[ネットワークタスク]** の下で、**[この接続の設定を変更する]**をクリックします。

ステップ4: **[全般]**タブの**[この接続は次のアイテムを使用する]**の下で、**[インターネットプロトコル(TCP/IP)]**をクリックし、**[プロパティ]**をクリックします。

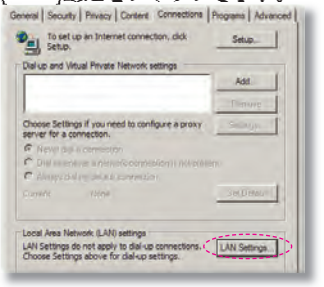


ステップ5: **[次のIPアドレスを使用する]**をクリックし、次のように入力します。

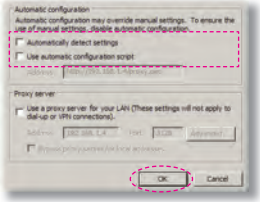
1) IPアドレス: 10.0.50.XXX
2) サブネットマスク: 255.255.0.0
3) デフォルトのゲートウェイ: 10.0.50.254



ステップ6: インターネットオプションを開くには、IE Webブラウザをクリックし、インターネットオプションをクリックし、**[接続タブ]**続いて[LAN]設定をクリックします。



ステップ7: **[構内通信網(LAN)設定]**ダイアログボックスが表示されたら、**[プロキシサーバ領域]**で[LANのプロキシサーバを使用するチェックボックス]をキャンセルし、[OK]ボタンを2度クリックします。



ステップ8: IEを開き、URLに10.0.50.100のIPアドレスを入力し、[Enter]キーを押します。 次のように、Webページが表示されます。

ステップ9: [コントロールパネル]を開いてプロジェクターを操作します。

ランプ& 電源設定

Ecoモード

[オン] を選択するとランプの光量を減らしランプの消費電力を抑えます。このモードを選択するとランプ寿命が延びる傾向が見られます。

高地設定

プロジェクタを高地で使用する場合、[オン] に設定してください。[オン] にした場合、ファンの回転が上がり、音が少し大きくなります。

オートパワーオフ

タイマの時間を設定します。プロジェクタへの入力信号が途切れると、カウントダウンを開始します。カウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます。

スリープタイマー

スリープタイマーの時間を設定します。 タイマーは、入力信号のあるなしに関わらず開始します。 スリープタイマーのカウントダウンが終了すると、自動的にプロジェクタの電源が切れます。

投射時間

投写時間を表示します。

ランプの使用時間

ランプの累計運転時間を表示します。

ランプリセット

ランプを交換した後にランプの使用時間をリセットします。

故障かなと思ったら

プロジェクターに問題が発生した場合は、以下をご参照ください。それでも問題が解決しない場合、最寄りの販売店またはサービスセンターにお問い合わせください。詳細については、53ページを参照してください。

問題: スクリーンに何も画像が表示されない

- すべてのケーブルと電源が、「設置方法」の章に記載されている手順どおりに正しく接続されていることを確認してください。
- コネクタのピンが曲がっていないか、または壊れていないか確認してください。
- プロジェクターランプが正しく取り付けられているか確認してください。「ランプの交換」を参照してください。
- レンズキャップが付いていないか、また、プロジェクターの電源が入っているか確認してください。
- 「AV ミュート」機能がオンに設定されていないか確認してください。

問題: 映像の両端が切れる、または映像に乱れやノイズが発生する

- リモコンまたはコントロールパネルで[再同期]を押します。
- PC使用時:

  Windows 3.x:

  1. [Windows Program Manager] で、[Main] グループの [Windows Setup] アイコンをダブルクリックします。
  2. ディスプレイ解像度設定が1600 x 1200以下であることを確認します。

  Windows 95, 98, 2000, XP:

  1. [マイコンピュータ] アイコンから[コントロールパネル] フォルダを開き、[画面] アイコンをダブルクリックします。
  2. [設定] タブを選択します。
  3. [詳細] ボタンをクリックします。

  それでもプロジェクターから画像全体が投写されない場合は、現在使用しているモニタディスプレーを変更する必要があります。次のステップをご参照ください。

  4. 解像度設定が1600 x 1200解像度以下であることを確認します。

5. [モニタ] タブの[変更] ボタンを選択します。
6. [全デバイス表示] をクリックします。 次に、SPボックスで [標準モニタタイプ] を選択し、[モデル] ボックスで必要な解像度モードを選択します。

- ノートパソコン使用時 :

1. まず、上記の手順に従ってコンピュータの解像度を調整します。
2. 次に、トグル出力設定を押します。例 :

Compaq ⇨	[Fn]+[F4]	Packard Hewlett ⇨	[Fn]+[F4]
Dell ⇨	[Fn]+[F8]		
Gateway ⇨	[Fn]+[F4]	NEC ⇨	[Fn]+[F3]
IBM ⇨	[Fn]+[F7]	Toshiba ⇨	[Fn]+[F5]

Mac アップル:
システム設定 ⇨ ディスプレー ⇨ 調整 ⇨ ミラーディスプレー

- 解像度を変更できない場合やモニタがフリーズした場合は、プロジェクターを含むすべての機器を再起動してください。

問題: ノートパソコンの画面に、投写映像が表示されない

- ノートパソコン使用時 :
  ノートパソコンの機種によっては、第二ディスプレイ機器使用中は、スクリーンが自動的に無効となります。再びスクリーンを有効にする方法は機種によって異なります。 詳細につきましては、お使いのコンピュータの取扱説明書をご参照ください。

問題:画像が乱れる、またはちらつく

- [トラキング] を使って修正してください。 (詳細は33ページをご参照ください)。
- コンピュータのモニタのカラー設定を変更してください。

問題:映像に縦の縞模様が出る

- [周波数] を調整してください。 (詳細は33ページをご参照ください)。
- グラフィックカードのディスプレイモードが製品と一致しているか確認し、一致していない場合は再設定してください。

問題:画像のピントが合っていない

- プロジェクタレンズのフォーカスリングで調整してください。

- プロジェクターと投写スクリーン間の距離が1.0～12.2 m以内にあることを確認してください。(詳細は25ページをご参照ください)。

問題: 16:9 DVDを再生表示しているとき、映像が伸びる

プロジェクターは自動的に16:9 DVDを検出し、デフォルトの4:3設定により全画面サイズへとデジタル調整することで、アスペクト比を調整します。
それでも映像が伸びるときは、次の手順に従ってアスペクト比を変更する必要があります。

- 16:9 DVDを再生している場合は、DVDプレーヤーのアスペクト比を4:3に設定してください。
- DVDプレーヤーでアスペクト比4:3を選択できない場合は、オンスクリーンメニューでアスペクト比を4:3に設定してください。

問題: 映像が反転する

- OSDから[プロジェクション設定→投射方式]を選択し、投射方向を調整します。 (詳細は38ページをご参照ください)。

問題: ランプが消える、またはランプから破裂音がする

- ランプが寿命に近づくと、ランプはいずれ切れます。また、大きな破裂音が発生することがあります。 この場合、ランプモジュールを交換しない限り、プロジェクターの電源を入れることはできません。 ランプを交換するには、「ランプの交換」に記載の手順に従ってください。 (詳細は49ページをご参照ください)。

問題: LED 点灯メッセージ

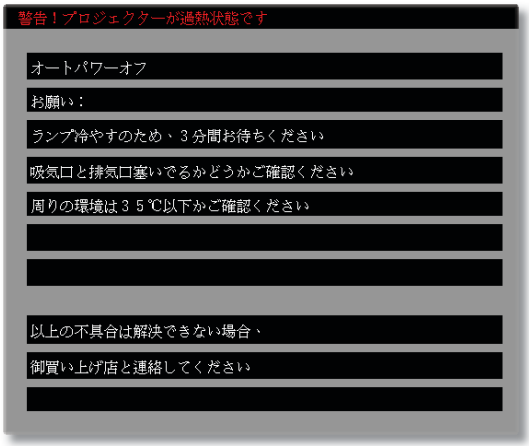
メッセージ	電源LED		温度LED	ランプ LED
	(緑)	(赤)		
スタンバイ状態（電源コード接続済）	○	☼	○	○
警告	点滅	○	○	○
通常モード	☼	○	○	○
冷却	○	点滅	○	○
エラー（ランプトラブル）	○	○	○	☼
エラー（ファントラブル）	○	○	○	点滅
エラー（過熱）	○	○	☼	○

NOTE 点灯 ⇨ ☼ 消灯 ⇨ ○

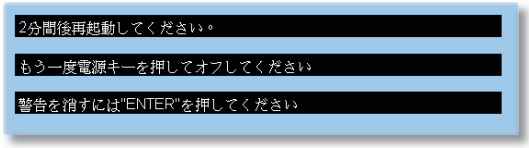
問題: 警告メッセージ

- ファンのトラブル:

- 過熱:



- 電源オフ時:



- ランプ交換 :

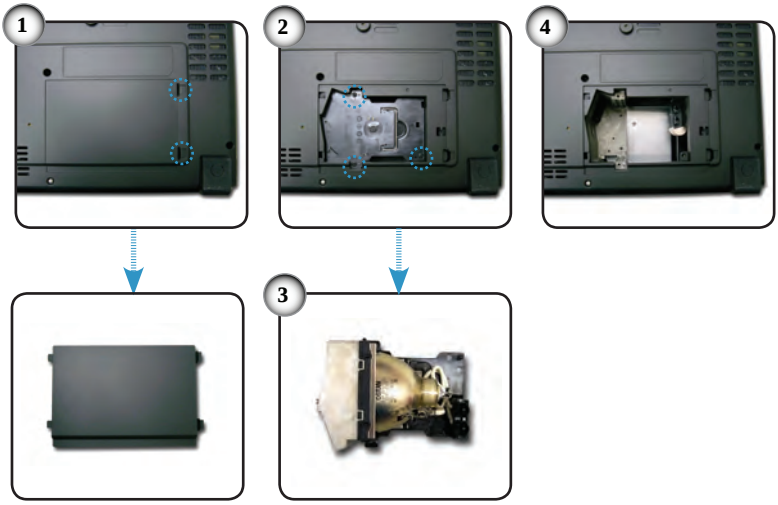
ランプの交換

プロジェクターは、ランプの使用時間を記録します。 寿命が近づくと警告メッセージが表示されます。

このメッセージが表示された場合は、すぐにランプを交換してください。 ただし、ランプを交換する前に、プロジェクターが十分冷却されるまで約30分お待ちください。

NOTE

⚠警告: ランプ周辺は高温になっています。 約30分間お待ちいただき、ランプの熱が冷めてから交換してください。



NOTE

⚠警告: 人体に害を及ぼす危険がありますので、ランプモジュールを落としたり、ランプの電球に触れたりしないでください。電球が落ちると、破片が飛び、ケガをする恐れがあります。交換する時は素手で作業しないで下さい。

ランプ交換手順 :

1. [電源 / スタンバイ] ボタンを押して電源を切ります。
2. ランプが十分冷却されるまで約30分間お待ちください。
3. 電源コードを外します。
4. カバーを押し上げて取り外します。❶
5. ランプモジュールに取り付けられている3本のネジを、ドライバーで取り外します。❷
6. ランプモジュールを引き上げます。❸

上記の手順とは逆に新しいランプモジュールを取り付けます。

互換モード

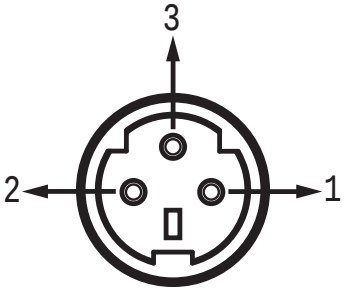
モード	解像度	（アナログ）		（デジタル）	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
VESA VGA	640 x 350	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	640 x 350	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 400	85	37.9	85	37.9
VESA VGA	640 x 480	60	31.5	60	31.5
VESA VGA	640 x 480	72	37.9	72	37.9
VESA VGA	640 x 480	75	37.5	75	37.5
VESA VGA	640 x 480	85	43.3	85	43.3
VESA VGA	720 x 400	70	31.5	70	31.5
VESA VGA	720 x 400	85	37.9	85	37.9
VESA SVGA	800 x 600	56	35.2	56	35.2
VESA SVGA	800 x 600	60	37.9	60	37.9
VESA SVGA	800 x 600	72	48.1	72	48.1
VESA SVGA	800 x 600	75	46.9	75	46.9
VESA SVGA	800 x 600	85	53.7	85	53.7
VESA XGA	1024 x 768	60	48.4	60	48.4
VESA XGA	1024 x 768	70	56.5	70	56.5
VESA XGA	1024 x 768	75	60.0	75	60.0
VESA XGA	1024 x 768	85	68.7	85	68.7
* VESA SXGA	1152 x 864	70	63.8	70	63.8
* VESA SXGA	1152 x 864	75	67.5	75	67.5
* VESA SXGA	1152 x 864	85	77.1	85	77.1
* VESA SXGA	1280 x 1024	60	63.98	60	63.98
* VESA SXGA	1280 x 1024	75	79.98	75	79.98
* VESA SXGA	1280 x 1024	85	91.1	85	91.1
* VESA SXGA+	1400 x 1050	60	63.98	60	63.98

モード	解像度	（アナログ）		（デジタル）	
		垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)	垂直周波数 (Hz)	水平周波数 (kHz)
* VESA UXGA	1600 x 1200	60	75	60	75
MAC LC 13”	640 x 480	66.66	34.98	***	***
MAC II 13”	640 x 480	66.68	35	***	***
MAC 16”	832 x 624	74.55	49.725	***	***
MAC 19”	1024 x 768	75	60.24	***	***
* MAC	1152 x 870	75.06	68.68	***	***
MAC G4	640 x 480	60	31.35	***	***
i MAC DV	1024 x 768	75	60	***	***
* i MAC DV	1152 x 870	75	68.49	***	***

NOTE 注:「*」は圧縮コンピュータ画像です。

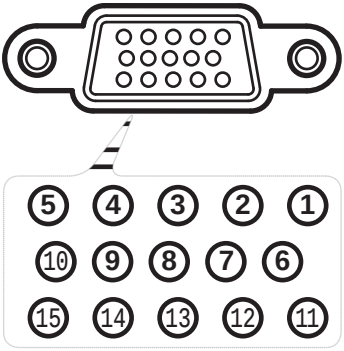
RS232コマンド

RS232端子



ピン番号	信号名	I / O（プロジェクタ側）
1	TXD	出力
2	RXD	入力
3	GND	—

VGA入力端子



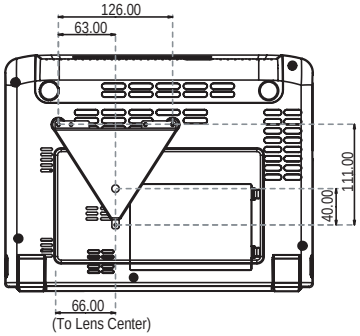
ピン番号	信号名
1	R（赤）/Cr
2	G（緑）/Y
3	B（青）/Cb
4	NC
5	GND
6	GND
7	GND
8	GND
9	DDC 5V
10	HOT_DET
11	NC
12	DDC 日付
13	HS / CS
14	VS
15	DDC クロック

天井への取り付け

1. プロジェクタの破損を避けるため、設置には天井設置パッケージを使ってください。
2. 他社製の天井設置キットをご利用になる場合、プロジェクタの取り付けに使用するネジが次の仕様に適合してるかをご確認してください。
   - **ネジの種類: M3**
   - **最大ネジ長 : 10mm**
   - **最小ネジ長 : 8mm**

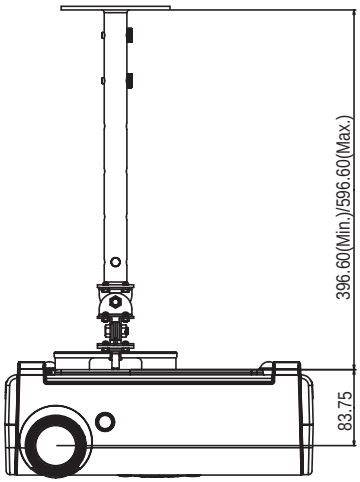
NOTE

❖不適切な設置による破損は保証の対象になりません。



NOTE

⚠警告:
1. 天井設置キットを他の製造元からご購入された場合は、プロジェクターの底面を、最低でも10cm以上天井から離して設置してください。
2. エアコン、ヒーターなどの熱を発する機器から離して設置してください。熱源の近くに設置した場合は、プロジェクターが過熱し自動的に電源が切れる可能性があります。



Optoma 社 お問い合わせ先

サービスやサポートにつきましては、最寄のオフィスまでご連絡ください。

日本
株式会社オーエス　　お客様相談窓口 : 0120-46-5040
東京都足立区綾瀬3-25-18
オーエス本社ビル　　www.os-worldwide.com
メールアドレス : info@os-worldwide.com

アメリカ
715 Sycamore Drive　　電話: 408-383-3700
Milpitas, CA 95035, USA　　FAX: 408-383-3702
www.optomausa.com　　メールアドレス : service@optoma.com

カナダ
120 West Beaver Creek Road Unit #9
Richmond Hill, ON L4B 1L2, Canada
電話: 905-882-4228　　FAX: 905-882-4229
www.optoma.com

ヨーロッパ
42 Caxton Way, The Watford Business Park
Watford, Hertfordshire, WD18 8QZ, UK
電話: +44 (0) 1923 691 800　　Fax: +44 (0) 1923 691 888
www.optomaeurope.com
カスタマーサービス　　電話: +44 (0)1923 691865
メールアドレス : service@tsc-europe.com

台湾
231 台北県新店市　　電話: +886-2-2218-2360
民権路108号5階　　FAX: +886-2-2218-2313
R.O.C.　　www.optoma.com.tw
メールアドレス : services@optoma.com.tw　　asia.optoma.com

香港
Room 2507, 25/F., China United Plaza,
No. 1008 Tai Nan West Street, Lai Chi Kok, Kowloon, Hong Kong
電話: +852-2396-8968　　Fax: +852-2370-1222
www.optoma.com.hk

中国
5F, No. 1205, Kaixuan Rd.,　　電話: +86-21-62947376
Changning District　　Fax: +86-21-62947375
Shanghai, 200052, China　　www.optoma.com.cn

南米
715 Sycamore Drive　　電話: 408-383-3700
Milpitas, CA 95035, USA　　Fax: 408-383-3702
www.optoma.com.br　　www.optoma.com.mx